



病院公式 LINE を開設

LINE
はじめました



KARINDOH

当院の理念

医療法人財団 華林会

村上華林堂病院のご案内

Murakami Karindoh Hospital
Hospital Guide

2023

医療の公共性を重んじ、
信頼される医療を通じて地域社会に貢献します。



Policy

理事長からのご挨拶



医療法人財団 華林会
理事長

菊池 仁志

医も亦自然に従う

華林堂の名称は大分県中津藩医第6代目村上玄秀の号に依るものです。そして『医も亦自然に従う』は、初代宗伯から日本の近代医学の先駆けとして活躍し、前野良沢らと共に我が国においての解剖を初めて行った第7代玄水へと引き継がれている精神です。

その末裔の一人である私にもこの医家精神を大切にしていける使命があると思います。医療技術は、時代とともに進んでいきますが、人間の本質は変わりません。「医療の本質とは何か」と考えたときにそれは「病気を治す」ことはもとより、「病む人を癒す」ことが、なにより大切なことであると思います。そしてそのためには、医療を提供する側と受ける側ともに協力し合いながら、自然の流れに逆らうことなく身を任せ、病む人を癒す気持ちを持つことで、最良の医療を提供できるのでないかと考えます。

当院は、福岡市西区の地域に密着した中核病院として、地域の皆様のために心のこもった医療を提供していくために、スタッフ一同協力し合いながら、日々努力を重ねていきたいと思っております。

Executive Message

地域の方々と共に歩む病院

2023年4月1日より村上華林堂病院の第4代院長に就任しました。当院は1982年に開院し、41年目に入りました。当院の理念にありますように、これまで良質な医療の提供を通じて地域社会に貢献してきましたし、今後も変わることはありません。

2015年に国連サミットで持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals, SDGs）が採択され、日本も国をあげて取り組んでいます。SDGsは誰一人取り残さないということが基本であり、私共は地域の皆さんが健康に生活できるように医療を提供します。

福岡市内には大学病院が2つ、高度な急性期医療を提供できる総合病院もいくつかあり、医療環境には恵まれています。その中で当院は、軽症の急性期診療および在宅生活につなぐ亜急性期～慢性期の診療を担い、地域包括ケアシステムが機能するように務めます。そのためにも他の医療機関・施設との連携をさらに強化していきます。

当院は内科、眼科、整形外科の診療を行っていますが、内科は総合診療科として身体全体を診て、必要に応じて各専門領域の内科医が担当いたします。特色としては、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症などの神経難病診療、通院が困難な方への在宅診療、癌末期の終末期に対処する緩和ケア、充実したリハビリテーションの提供体制があります。たとえ病気を治すことができなくても、癒しが得られるように寄り添ってまいります。

院長からのご挨拶



医療法人財団 華林会
村上華林堂病院
院長

山田 猛

今年度の取り組み Our Efforts

最新の手術装置を導入し、これまでの眼科手術を中心に整形外科、小外科の手術にも注力します

手術ベッド 長時間の手術でも皮膚トラブルを起こさないよう、高性能な低反発マットを使用し、安楽な体位で手術が提供できることを目指しています。

無影灯 超高演色の医療用 LED を使用し最大照明は 140.00lux。

外科用X線 TV システム (X線透視撮影装置)

完全手動式の抜群の操作性に加え、高精細フラットパネルディスプレイにより歪のない鮮明な画像を見ることができるものを導入しました。長時間の手術でも高画質を保ちながら効率よく被ばくを低減できます。



眼科手術装置のご紹介

白内障手術装置 (CENTURION) は、小切開創の水晶体を摘出するためのもので、従来に比べて、より迅速、スムーズな吸引及び吸引圧を取り入れた高性能な手術装置です。



これからも患者さんによりよい医療を提供できるよう環境を整えて参ります。

サービス品質の向上と円滑な対応を目指して

1. ホームページリニューアル

当ホームページにつきまして、大幅なりニューアルを実施しました。

今回のリニューアルでは、デザインやページ構成を見直し、新コンテンツの追加も実施しました。

また、スマートフォンやタブレットでの表示にも最適化し、各デバイスから閲覧しやすく改善しております。

今後も皆様にご利用いただけるよう更なる改善を図り、有益な情報提供も行って参りますので、よろしく申し上げます。



2. 病院代表電話の自動音声案内導入

患者さんの利便性向上の一環として「自動音声案内電話」を導入いたしました。

ご用件に応じた担当者につながるよう改善し、お電話口でお待たせすることを最小限にしてスムーズなご対応ができるよう努めてまいります。

診療体制 Medical Care System

複数の疾患と複雑な背景を抱えた高齢者を地域内で総合的に支えるには、総合診療部門と専門診療部門がバランス良く連携、協力する診療体制が重要です。当院では、従来の並列的な診療部構成ではなく、総合診療部門が中心にあり、領域別専門診療各科と相互に連携・補完する診療部体制を目指しています。この体制では、より専門性の高い診療は領域別の専門医が主に行います。それほど高い専門性を求められない診療や複数の疾病を総合的にバランスよく管理する必要がある患者さん、在宅医療、緩和ケア（エンド・オブ・ライフケア）などは主に総合診療部門が担当し、専門診療部門と総合診療部門は柔軟に補完・連携してゆきます。

総合診療を中心に領域別専門診療と相互に連携・補完

脳神経内科

当院では神経変性疾患を中心とした神経難病患者の在宅療養を支えるために、多専門職種によるチーム医療を通して、プライマリケアやレスパイト入院（患者さんの全身状態の評価やご家族の介護負担軽減のための一時的入院）や終末期の緩和医療にまで幅広い診療に取り組んでおります。



緩和ケア内科

私たちは緩和ケアについて「その人がその人らしい生を全うすることができるように援助すること」と考えています。

緩和ケアを提供する形態には、緩和ケア入院、緩和ケア外来、及びご自宅での生活をサポートする訪問診療や訪問看護、訪問介護などのサービスがあり専門チームが連携して行っています。入院中は、痛みやだるさなどの不快な症状を取り除くだけでなく、精神的な苦痛を軽減し、患者さんやご家族が可能な限り穏やかな時間を過ごせるよう努めています。



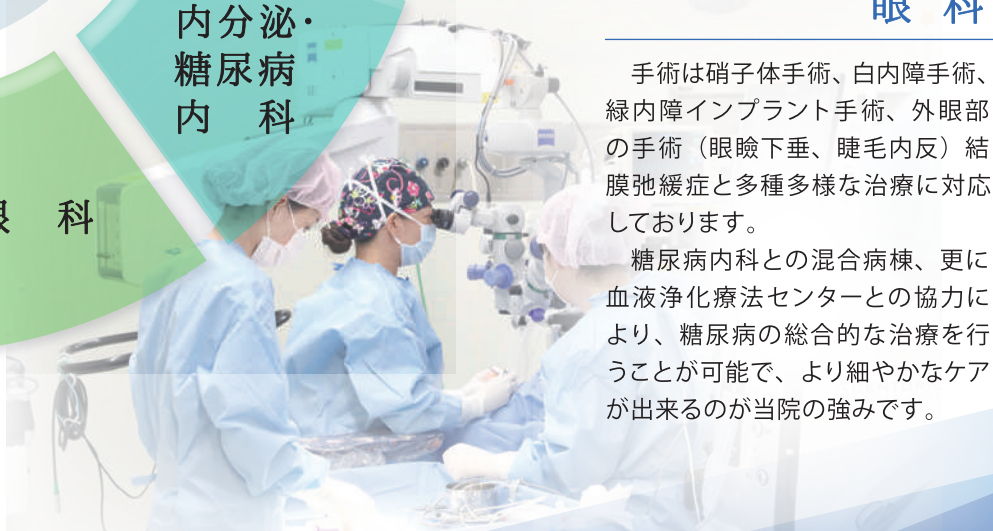
循環器内科・血管外科

循環器内科は主に心臓病や血管の病気の専門科です。「狭心症」「心筋梗塞」「心不全」「心臓弁膜症」「不整脈」、更には「高血圧」「脂質異常症」などの生活習慣病も治療対象です。上記に加え、血管外科と連携し、手術後回復期を含めた「心臓リハビリテーション」にも力を入れています。



眼科

手術は硝子体手術、白内障手術、緑内障インプラント手術、外眼部の手術（眼瞼下垂、睫毛内反）結膜弛緩症と多種多様な治療に対応しております。糖尿病内科との混合病棟、更に血液浄化療法センターとの協力により、糖尿病の総合的な治療を行うことが可能で、より細やかなケアが出来るのが当院の強みです。

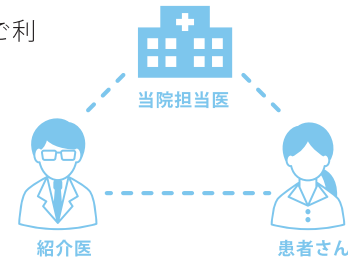


地域医療 Community care

地域連携

当院の最も主要な役割は、高度先進医療機関や近隣の診療所、介護・福祉施設と連携し、地域の高齢者が生活圏内で暮らし続けていくことを入院設備のある病院として支援することです（地域包括ケアシステムを支える病院）。

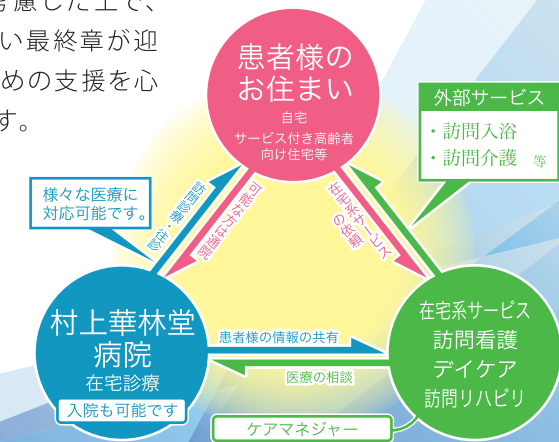
地域の先生方、患者さんがご利用しやすいよう、地域の医療機関・福祉施設と密接な連携を図っています。



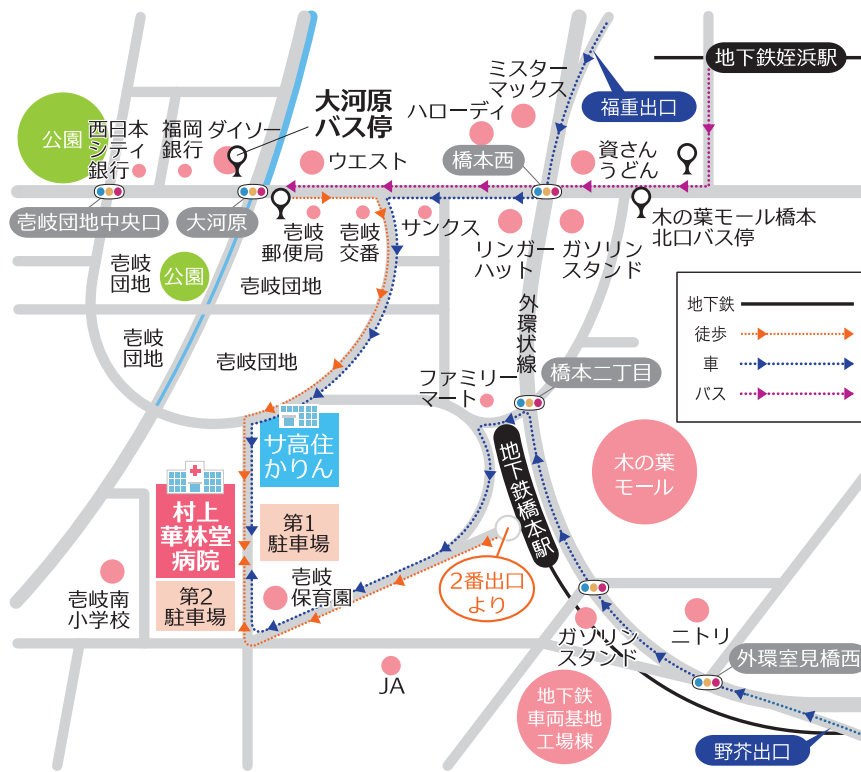
在宅医療

当院の在宅診療部では、外来通院が難しくなった方を対象に、在宅（自宅および施設）での診察に力を注いでいます。計画的な定期訪問診療を中心に、24 時間体制での電話相談および必要時の臨時往診を行っています。詳細な内容については気軽にお問い合わせください。

在宅診療部では平成 19 年 6 月の稼働開始以来、当院の緩和ケアおよび障害者病棟と連携し、末期がんと神経難病の患者ケアを基軸とした在宅診療を行っています。現在では病気の種類に関わらず、患者さん中心の医療を提供することに主眼を置いています。特に最後まで自宅で療養を継続したい患者さんにおいても、本人の人生観および家族や地域の事情などを十分考慮した上で、その人らしい最終章が迎えられるための支援を心がけています。



交通アクセス Access



福岡都市高速をご利用の場合

天神方面(内回り)から : 福重出口から約10分
野多目方面(外回り)から : 野芥出口から約10分

福岡市地下鉄をご利用の場合

空港線姪浜駅よりタクシー約15分
空港線姪浜駅より西鉄バス約20分「大原」下車 徒歩約8分
七隈線橋本駅より徒歩約7分

西鉄バスをご利用の場合

「大原」下車 徒歩約8分

無料病院巡回バスをご利用の場合 ※日祝日は運行いたしておりません

- 1号車 病院 ▶ 大原バス停 ▶ 苓岐農協 ▶ 姪浜駅北口 ▶ 都橋 ▶ 病院
- 2号車 病院 ▶ 苓岐公民館前 ▶ 生松台 ▶ 野方台 ▶ 藤ヶ丘団地 ▶ 羽根戸 ▶ 吉武 ▶ 病院
- 3号車 病院 ▶ 地下鉄橋本駅2番出口前 ▶ 美室団地口 ▶ 室住団地 ▶ 地下鉄橋本駅2番出口前 ▶ 病院
- 6号車 病院 ▶ サ高住かりん ▶ 大原バス停 ▶ 上山門 ▶ 下山門駅 ▶ 下山門農協 ▶ サ高住かりん ▶ 病院

当院の巡回バスを **無料** でご利用いただけます



医療法人財団 華林会

村上華林堂病院

KARINDOH 日本医療機能評価機構認定病院・救急告示(内科)・開放型病院

代表 TEL : 092-811-3331

〒819-8585 福岡市西区戸切2-14-45 FAX 092-812-2161

URL <https://www.karindoh.or.jp> E-mail info@karindoh.or.jp



受付時間 / 月～金 午前 8:30～11:30 午後 1:00～4:00 土曜日 午前 8:30～11:30 ※土曜日は午前のみ

診療科目 / 総合診療科 内科 老年内科 循環器内科 血液・腫瘍内科 脳神経内科 糖尿病・内分泌内科 腎臓内科 人工透析内科
消化器・肝臓内科 呼吸器内科 緩和ケア内科 眼科 整形外科 リハビリテーション科

関連部門 / 訪問リハビリテーション 居宅介護支援事業所「かりん」 訪問看護ステーション「かりん」
通所リハビリテーション サービス付き高齢者向け住宅「かりん」



病院公式 LINE を開設 病院からのお知らせやイベント情報などを、お届けいたします。



QRコードで
LINEの友だちを追加

LINEアプリの「ホーム」を開き、画面右上にある「友だち追加」ボタン▶
[QRコード] をタップして、コードリーダーでスキャンしてください。

